

キャリアNews No.5

個人の生き方・働き方が多様化する中で、組合員のなかには自身のキャリアで悩んでいる方もいます。もし相談があった時、私たち労働組合の執行委員はどのように対応したらいいのでしょうか。
この「キャリアNews」では相談事例をもとにどのように支援すればいいのか、経験豊富なキャリアカウンセラーがアドバイスします。



相談事例 Fさん 入社10年目 男性 研究職

私はAIに関する研究をしたくて今の会社の研究所に就職を決めました。
職場ではそれなりに研究成果もだし、ますます研究という仕事が好きになっています。
ただ、研究成果を事業部に移管して、製品化を目指すことになり、そのリーダーを命じられました。私は製品化に興味はなく、研究をしていきたいと思っています。
このままでは大好きな研究が出来なくなり、転職も頭をよぎってしまいます。

Fさんは、自分の研究成果を製品化する為に事業部への異動の辞令をもらい、10年間継続してきた研究業務を中断することに対する不満と、新職場への不安を抱いているようです。



キャリアカウンセラーとしての対応

問いかける



今までの仕事の内容と自分の研究成果が製品化されることへのFさんの思いを尋ねると、最近感じている仕事に対する不安や迷いを語ってくれました。

Fさんの思い



- 現在ほど話題になる前から進めてきたAIに関しての自分の研究が社内で評価され、製品化されることは正直、嬉しい。
- しかしながら、モノづくりは事業部の仕事であり、新商品の開発経験がない自分は製品化のリーダーとして相応しくない。
- 研究者としての自信はあるが、製品化のプロジェクト管理については経験がなく興味もないので困惑している。

傾聴する



- 入社以来10年間同じ職場で働いていたFさんにとって、初めての人事異動という転機にあたり、新しい職場が畑の違う事業部となったことに加えて、プロジェクトリーダーは、設計～開発～生産の全工程を理解しなくてはいけないと思い込んで漠然とした不安を抱え込んでいる。【本人の思い込み】
- 新しい仕事の内容の理解は不十分で、職場の上司や事業部の関係者に相談しないまま、一人で悩んでいるように見受けられました。【コミュニケーション不足・情報不足】
- 今までは、Fさんのやりたいこと【WILL】と出来ること【CAN】と会社から期待されること【MUST】は、AIの研究ということで一致していました。
- そして今般、会社から研究者としての専門能力とその実力を評価されて、新製品の開発リーダーに抜擢されました。しかし、会社の方針・期待（研究成果の事業化・製品化リーダー）と「本人の希望や大切にしたいこと」とのギャップで悩んでいる模様です。【課題の本質を推測（見立てる）】

キャリアカウンセラーとしての対応



一緒に考える 情報を伝える

その話を伺ったキャリアカウンセラーは、Fさんのこれまでの研究活動の功績を誉め、研究活動を続けたいという本人の希望を共感しつつ、Fさんの今後のキャリア(自分らしい生き方・働き方)について整理しながら一緒に考えてみました。

その中でキャリアカウンセラーは、「キャリア・パス」(組織のポストに就くための道筋/必要な業務経験や知識)や個人の「世代別キャリアデザインの視点」(例:30代=専門性・マネジメント経験・組織貢献を期待される時期..)の情報を紹介しながら、Fさんとの対話を進めました。【情報提供】

気づきを与え、語らせる

その結果、面談の最後にFさんから下記のような話がありました。

Fさんからのお話



- 今回の人事異動に伴う新しい環境でのプロジェクト経験は、私自身の能力開発とキャリアアップにつながるかもしれないと思えてきたので、それを踏まえて自分の今後のキャリアの方向性を考えたい。
- 具体的には現在のモヤモヤを解消する為に、まずは職場の上司に今回の辞令の背景や自分への期待と今後のキャリア・パスについて相談し、その後、事業部の関係者から異動後の自分の役割やプロジェクトの概要について話を聞いてみたい。



キャリアカウンセラーの役割

キャリアカウンセラーは、相談者が自分のキャリア(働き方、生き方)を考えるお手伝い役です。

今回は本人の希望を受容・共感しつつ「第三者」の視点で、Fさんの組織の論理(会社や上司の認識や期待、キャリア・パス等)の理解と自己理解(やりたい事・出来る事・期待されている事)の支援を通じて、組織と個人の論理の統合による自分らしいキャリア・プラン作りを、Fさんに寄り添って支援しました。

問いかけ

相談のきっかけや悩みの内容を尋ねながら

傾聴

本人の話(価値観・大切にしたいこと..)をよく聴き

気づきを与える

時には第三者の視点にたった情報提供等をしながら、本人にとって望ましい今後のキャリアについて一緒に考え、相談者のキャリア・プランを支援する

～あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます～

働く私たち自身が自らの手で自分らしい生涯を作り出していくために、「電機連合キャリアデザインセンター」では経験豊富なキャリアカウンセラーが電話相談に応じ、あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます。プライバシーもしっかり保護されますので、安心してご相談下さい。

～キャリアについて、あなたの?を気軽にお話し下さい～



三田勝彦 先生

情報通信システムメーカーに35年勤務しシステム営業や販売促進業務に従事。

キャリアコンサルタント資格取得後は東京商工会議所にて、従業員のキャリア形成を支援する「セルフ・キャリアドック制度」の普及を担当し、1000名以上の経営者や従業員向けのセミナー講師やキャリアカウンセリングの経験を持つ。

現在はカウンセリングを通じた働く人の就職・転職・キャリア支援と、企業内キャリア開発セミナー講師として活動中。

対象

組合員本人とその家族
(配偶者・子ども)

時間

最長50分

原則

毎週水曜日(祝日、年末年始を除く)
17:00~20:00

見つけよう つよみ

0120-324-243 (通話料・相談料無料・携帯からも可)

電機連合キャリアデザインセンター

検索